

議事概要記録

開催日時	平成 25 年 4 月 6 日 14:00～17:00	開催場所	和歌山県立医大 中検技師控室
会議種別	平成 25 年度和臨技第 1 回理事会	議 長	畑 忠良
		書 記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、畑 忠良、竹中 正人、大石 博晃、田中 規仁、木下 博之、 田中 久晴、蓬台 克之、脇村 小津江、須賀 洋、栗林 伴有、瀧谷 雅彦、 瀧口 良重、今西 数彦、丸澤 佳子、村田 正吾、勝山 浩樹 14 名		
欠席者 〈敬称略〉	田中 久晴、須賀 洋、勝山 浩樹 3 名	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 日臨技監事会報告 3. 近臨技理事会報告 4. 事務局報告 5. 学術部報告 6. 経理部報告 7. 第 34 回和歌山県医学検査学会報告 8. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 精度管理 (エ) データ標準化 (オ) 会誌編集 (カ) ホームページ (キ) 会報 9. 連盟 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学術部から 2. 事務局から 3. 定期総会議案書について 		
決議事項 及び 継続事項	<p>冒頭に会長から挨拶があった。</p> <p>報告事項</p> <p>会長報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 月 30 日（土）関西支部、近臨技会議の報告があった。 ・ 当会主催研修会の講師料について・・・外部講師 3 万円、内部講師（会員、日臨技役員 1 万円）、講義時間 90 分以上 1.5 倍、30-90 分 1.0 倍、30 分以下 0.5 倍さらに+10.21%の源泉復興税で行うとのこと。 ・ 4 月 1 日より、支部名称を関西支部から近畿支部に改める。第 53 回支部学会名称については、既に関西支部学会で案内しているが、できる範囲で変更と周知を行う。 ・ 2016 年 I F B L S 学会の開催地が兵庫県に決定した。第 65 回日臨技学会 		

と合わせて行う。

- ・平成 24 年度支部研修会実績および平成 25 年度支部研修会（予定）について、平成 25 年度の血液研修会は、和歌山が担当。
- ・第 52 回関西支部学会（和歌山）のマイナス決算 149 万円の内、125 万円を日臨技が補填し、残りの 24 万円を近臨技が補填する事となった。
- ・田中久晴理事ご母堂（ご実母）の葬儀に参列しました。

○講師料についての質問

和臨技が日臨技規定に従えば、教授クラスも 3 万円になるのかと木下学術部長から質問があった。和臨技が日臨技規定に従う事により、3 万円で良いとの回答であった。しかし、和臨技は現行でも実質は医師 3 万円で運用していることが多く、現行のままで運用したいとの申し入れがあった。

和臨技会員が講師をした場合も同様に、現行通りの 5 千円とした。

今後講師料については源泉徴収が必要となります。

事務局報告

- ・総会時における特別講演の予定として、財団法人和歌山県人権啓発情報センター 岩崎順子先生から講演をいただく予定です。
- ・6 月 1 日の和臨技オリエンテーションについては、各講師会員向け配布資料を準備してください。

学術部報告

・H25 年度推進事業は 20 回予定していると報告があった。また、日臨技指定の緊急検査、検査基礎、検査説明、味覚臭覚に準ずる方向性の勉強会に対応するように、申請するとの事であった。

・学術部研究班 H24 年度収支報告について説明があった。

・3 月 9 日に 25 年度に向けた学術活動の班長班員会議が開催されたと報告があり、各研究班に対して、平成 25 年度勉強会については参加費や実務費等、統一した運用をお願いしたとの報告があった。

・表彰審査委員会から、平成 23 年度学術奨励賞には「当センターにおける基質拡張型 1-ラクタマーゼ (ESBLs) 産生菌の検出状況 (中家歩美技師 日本赤十字社和歌山医療センター) が、平成 24 年度会長賞には「腹部超音波検査が診断に有用であったエルシニア腸炎の 1 例」(木下博之技師 社会保険紀南病院)、平成 24 年度学術奨励賞には「発作性夜間ヘモグロビン尿症の 1 例 (小山明日美 技師 社会保険紀南病院)」が審議決定された報告があった。

・和臨技オリエンテーションでの学術部のミニレクチャーとして、一般検査から井上真由美技師 (和歌山県立医科大学附属病院)、生理機能検査から佐竹理恵技師 (社会保険紀南病院) が行うと報告があった。

・第 16 回学術部一泊合同研修会は 7 月 20 日 21 日を予定とし、カンファレンスは、一般検査 (鈴木恭子技師: 社会保険紀南病院) と微生物検査 (中家歩美技師: 日本赤十字社和歌山医療センター) の 2 例について、検討する形を取りたいとの報告があった。また、特別講演には婦人科領域の疾患について社会保険紀南病院産婦人科部長である林 子耕医師をお願いしたとの報告が

あった。

○合同研修会について、1日のみの参加は今年度も不可かと質問があった。今年度も2日セットでの申込が原則であると再確認があった。

○実務委員についての交通費支給についての確認があった。学術部長より、今まで各研究班の運用がまちまちであったため、25年度から統一した運用で行うようにと、各班に指示した旨の説明があった。

経理部門

・大石経理部長より、24年度の収支決算書について報告があった。

・会費収入について、年度末に次年度分として納入された会費・賛助会費は、従来は次年度活動費として処理されていた。しかし、前監事から、本来は繰越金として処理するべきとの指摘があったため、今回の決算書から、次年度分会費を繰越金に含めた形となっている旨の説明があった。よって、総会時に詳細に説明する必要があるとの事であった。また、繰越金が増える事により、法人税が増える可能性についても考慮する必要があると指摘された。

・その他、各種助成金収入・雑収入（学会参加費・勉強会参加費・利子など）についての説明があった。

・支出としては、和歌山学会費、各種事業（学術・公益・精度管理）活動費、機関誌発行費等と、一括して計上する。また、（一般社団法人収支決算書体系として）各種事業費と会員向け運用費を大きく分けた計上であるとの報告であった。

第34回和歌山県医学検査会報告

・蓬台理事（学会長）より、学会懇親会参加者数77名（一般会員30名、実務委員16名、賛助会員31名）、医学検査学会参加者数123名（一般会員90名、実務委員18名、賛助会員15名）との報告があった。特別企画も概ね好評を得ることができた。次回以降の学会において新規企画発案が続けて行くきっかけになればとの報告があった。

・収支決算報告書について、収入1,440,500円、支出1,078,252円で、残高362,248円を和臨技に返納したと報告があった。

各種委員会報告

・公益（畑副会長）：特にありません。

・定款・渉外（竹中副会長）：特にありません。

・精度管理事業（今西理事）：24年度精度管理報告書の発行が遅れている旨の報告があった（4月中には配布予定）。また合わせて、精度管理事業（サーベイ）参加証明書も発行配布しますと報告があった。

・データ標準化事業（今西理事）：4月13日に、日臨技会館にて行われる代表者会議に出席予定との報告があった。

・会誌編集（瀧谷理事）：25年度会誌発行に向けて、早急にタイムスケジュールをたてる事と、B5版からA4版に変更する旨の報告があった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ（丸澤理事）：求人情報掲載用提出書類を規定化したことにより、明確な求人情報が得られるようになった。また、技師会入会申込書等を掲載していきたいこと、会員向けの情報発信について、今後充実していきたい等の報告があった。 ・会報（脇村理事）：24年度後期と25年度前期版の合併版を総会後に配布予定と報告があり、総会議案書の付録版のような形式で作り込んでいきたいと報告があった。また、投稿の依頼も合わせて申し入れがあった。 <p>補足：月例行事予定表の広告申込状況についての情報が欲しいと、栗林理事から依頼があった。また、会誌の関連団体への送付先見直しを大がかりに行った旨の報告があった（約50団体から20団体に減）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連盟（脇村理事）：米坂参議院比例区候補については、技師連盟が推薦する事になった。よって会員への広報をお願いします、との申し出があった。 <p>審議事項</p> <p>学術部審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度精度管理事業について（35回和学会関連事業の）講師を招聘する報告会を集大成として完了する事により、和医大医学振興会助成制度を利用したい旨の申請があり、承認された。 <p>事務局審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンケイ新聞社から当会に、ピンクリボン啓発活動への広告依頼があった。広告記事のキャッチコピーに乳腺エコーの文言を入れることを条件に広告を掲載することとした。 ・講師料に関する源泉税徴収事務マニュアルについて審議した。若干、修正する事で承認された。 ・総会議案書案について、約1時間全文について読み合わせを行い随時修正した。
記録作成	平成25年4月12日 氏名 田中 規仁 提出 平成25年4月15日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可